

指標の再検討について

教育ビジョン推進委員会

令和2年11月17日

以下の件については、指標の再検討となる内容です。今回は、問題提起という形で提案させていただきました。ご意見をいただければ幸いです。

●12ページ、事業2「いじめ・不登校対応への支援カウンセラー等活用事業」の指標2、3について

「不登校発生率」の公表が2年間続けて次年度の10月末に延びており、最終評価を行う6月の推進委員会で、この指標について協議できない状態になっている。

「不登校発生率」は、年度末までを集計し文部科学省に提出しているが、文部科学省が発表するまでこの数値の公表ができない。したがって令和元年度の評価は空欄で報告した。文部科学省からの明言はないが、おそらく次回も公表が今年度同様の時期になるとと思われる。

また、前回、推進委員の方からいただいたご意見・ご要望で、初期対応を重視した「不登校傾向ながら欠席が30日に満たない児童生徒」への支援も有意義とのご指摘をいただいた。各学校や教育委員会が行っている不登校の未然防止、予防的な指導の成果が見える指標にすべきとの思いもあり、再検討が必要ではないかと考えている。

※不登校傾向児童生徒とは、新潟市独自調査の結果から、年間の欠席日数が30日に満たないが不登校傾向のある児童生徒

【現在の指標】

指標2	不登校発生率(小学校)(%) ※減少指標目標					
Ⅱ型	R1	R2	R3	R4	R5	R6
指標目標		前年度を下回る	前年度を下回る	前年度を下回る	前年度を下回る	前年度を下回る
進捗状況	0.69					
指標3	不登校発生率(中学校)(%) ※減少指標目標					
Ⅱ型	R1	R2	R3	R4	R5	R6
指標目標		前年度を下回る	前年度を下回る	前年度を下回る	前年度を下回る	前年度を下回る
進捗状況	3.63					